

みらいをつくる

発行: 泉佐野市教育委員会
教育部【2025年1月15日】

小中学生人権作品コンテストの表彰式が開催されました！

12月7日（土）「2024年度 泉佐野人権のつどい」がエブノ泉の森ホールで開催され、その第2部で「令和6年度 泉佐野市小中学生人権作品コンテスト」の表彰式が行われました。作文（小学生の部・中学生の部）、詩（小学生の部・中学生の部）、読書感想文（小学生低学年の部・高学年の部・中学生の部）、標語（小学生の部・中学生の部）、書道（小学生の部・中学生の部）、ポスター（小学生の部・中学生の部）の6部門を募集し、今年度は合計931点の応募がありました。各部門から最優秀賞1点、優秀賞2点、入選を最大10点まで選定、当日は最優秀賞と優秀賞の表彰が行われました。受賞した子どもたちは、少し緊張した様子ながらも、満足そうな表情で表彰状を受けとっていました。

また、表彰式のあとは、作文・詩・読書感想文の最優秀賞受賞作品の朗読も行われ、参加者の心に人権の大切さを訴えかけました。子どもたちの堂々とした朗読に、会場は大きな拍手につつまれました。令和6年度泉佐野市小中学生人権作品コンテスト表彰式は大盛況のうちに幕を閉じました。



人権作品コンテスト表彰式の様子



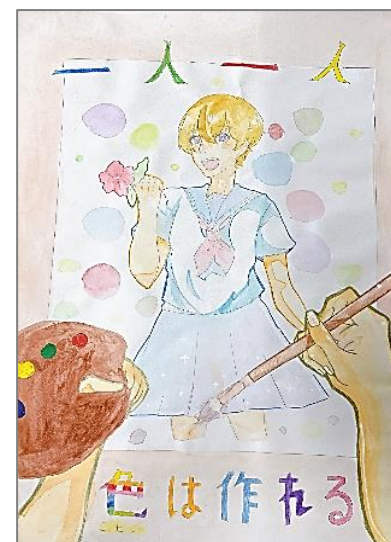
【書道・小学校の部】
第一小学校



【書道・中学校の部】
佐野中学校



【ポスター・小学校の部】第一小学校
6年生 河崎 優希乃



【ポスター・中学校の部】佐野中学校
3年生 鈴木 美羽



人権作品コンテスト表彰式当日
小ホール前にて全作品の展示

防災について学びました～災害を「知り」「備える」ために～

11月11日（月）、東日本大震災を経験された災害伝承語り部の吉田亮一さん（消防庁宮城県防災アドバイザー）を仙台市から泉佐野市にお招きし、日新小学校（4～6年生）、北中小学校（4～6年生）、佐野中学校（1～3年生）にて講演会を開催しました。

「地球は生きているから自然災害が起きる」「普段の備えや準備が大切」など、わかりやすい説明の後、登下校時に気をつけること、地震が起こった時のランドセルの使い方、授業中の机のもぐり方や机の支え方、おうちで寝ている時の姿勢等、具体的な場面でのロールプレイが行われ、日ごろから防災について意識しておくことの大切さを学びました。

北中小学校では、3時間目の講演の後、4時間目に子どもたちが「総務班」「設営班」「受付班」「物資班」「衛生班」「情報班」「炊出し班」「誘導班」と「避難者役」にそれぞれ分かれ、災害発生を想定した避難所運営を実際に体験しました。

講演の最後に、前のスライドに写された「いつもみんなが助け合い、協力して、命の大切さと人を思いやる気持ちで、仲良く暮らし、災害に勝ちましょう」の文章をみんなで読み上げました。

11月5日は「津波防災の日」です。子どもたちにとって、これからの防災・減災について考える貴重な機会となりました。



自身の思いや経験を語る吉田亮一さん



避難所設営を体験する北中小学校の子どもたち